

題材名：ふるさと海田のまつりばやしのみみつをみつけよう
「日本の音楽に親しもう」

題材について

- 本題材は、小学校学習指導要領音楽科第3学年及び第4学年、「B鑑賞」の指導事項「ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。」「ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。」の内容を受けて設定したものである。

3年生の児童にとって、古くから伝わる日本の伝統音楽に触れる機会は、音楽の授業の中では初めてで、日常生活の中で、お祭りの際などに地元のお囃子に触れる程度の経験しかない。そこで本単元では、日本を代表するお囃子の中から「花輪ばやし」(秋田県)「小倉祇園太鼓」(福岡県)「神田囃子」(東京都)と海田町の祭囃子である「熊野神宮祭礼獅子舞」を比較して聴くことで、お囃子の特徴づけている楽器の構成や繰り返しのリズムという共通点を見出し、それらの一部を模倣して身近な楽器や道具を使って演奏してみることを通して楽曲への理解を深めることをねらいとする。

今回使用する海田町の祭囃子は、「熊野新宮祭礼獅子舞」での楽曲である。楽曲の特徴としては、神輿に合わせて演奏される祭囃子と異なり、獅子舞とともに演奏されるため、曲のテンポが獅子舞の動きに合わせて変わる。また、獅子舞の持つ杖の先についた鈴の音が効果的に使われており、笛の音も、舞に合わせてずっと途切れずに続く独特のものとなっている。

- 児童はこれまで、題材名「いろいろな音色をかんじとろう」の中でアンダソン作曲「トランペットふきの休日」とモーツアルト作曲「アレグロ」を比較して聴くことで音の特徴や音色の違いを感じ取ったり、「おかしなすきなまほう使い」でイメージに合う音を探して表現する学習をしている。それらの学習の中で、楽器の音色を聞き分けたり、身の回りの楽器や道具を使って効果音を作ったりする学習をしてきた。そこで楽器ごとの音色の違いについては聴き取ることができるようになってきている。一方で全体を通した曲想とその変化を感じ取るところまでには至っていない児童もいる。また、豊かな発想で音楽を聴いて想像したことを表現することはできるが、想像したことの根拠を曲中に求めることはまだ難しい児童が多い。

本学級の児童は、鑑賞教材としてわらべうたやあそびうたに親しんできたが、我が国の伝統的な器楽曲を鑑賞するのは初となる。また、1, 2年生の時には、リズム、拍の流れ、フレーズなどが感じ取りやすい曲を取り上げていたため、祭囃子のような旋律がはっきりせず延々と続くような曲や、拍節的でないリズムをもつ曲に触れるのも、この題材が最初となる。

○課題を発見・解決する力

これまで児童は、総合的な学習の時間に海田町の歴史や文化を学び、それを地域の方や保護者に紹介する「ガイドツアー」を行っている。本題材を学習するに当たっては、その経験を生かし「音楽でも海田町を紹介することができないだろうか。」と投げかけ、「もしもガイドツアーで音楽を紹介するとしたら、どんなふうに紹介することができるだろう。」と、これまでの学習の成果を音楽につなげることで、意欲をもって祭囃子のひみつをさぐることに結び付けたい。また、ひみつを探るためには比

較の対照が必要であることに気付かせ、他地域の祭囃子と比較することで海田町の祭囃子を形づくっている要素を聴き取らせたい。祭囃子の特徴である楽器構成（たいこ・ふえ・かね）や、同じ節やリズムの繰り返しを実感するためには、お囃子の節やリズムを模倣することが有効と思われる。また、トントンやヒューなど、祭囃子をオノマトペで表現することで視覚化し、課題解決の手立てとしたい。

○**深く考える力**

各地の祭囃子と比較して聴き、その特徴や演奏のよさに気付く学習の中で育成したい思考力は、楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く創造的思考力である。

日本各地のお囃子と海田町のお囃子と比較する際には、日本を代表する大きな祭りでは演奏される祭囃子を聴き、共通点や相違点を見つけることで、故郷の伝統音楽のよさがわかると思われる。初めに国内の有名な祭囃子である「花輪ばやし」（秋田県）「小倉祇園太鼓」（福岡県）「神田囃子」（東京都）を聴き、マトリックスにメモしながら比較することで祭囃子の特徴である楽器の種類とリズムの繰り返しに気付かせる。次に、海田町の祭囃子である「熊野神宮祭礼獅子舞」を比較し、海田町の祭囃子の特徴が「鈴の音」「ゆっくりとした速さ」「笛の繰り返しの旋律」にあることを、他の地域の楽曲と比較することで気付かせる。そして、グループで意見を交流することによってお互いの気づきを交流し、海田町の祭囃子の特徴について、自分なりに表記させたい。

○**自己を理解する力**

これまで児童は、地域の祭りなどに参加した際に、神輿や盆踊りで地域の伝統的な音楽に触れている。地域の和太鼓グループの演奏を聴いたことのある児童もいる。また祭囃子を聴いたことのある児童もいるが、お囃子は行事に含まれる一部分であり、音楽としてそれのみを意識して聴くことはなかった。そこで、まずは児童と学習計画の共有を行い、ゴールの見通しをもたせたい。ゴールは地域の伝統的な音楽について、ガイドツアーの時のように他の人に説明できるくらいひみつを解き明かすことに設定し、身近な課題として意欲をもって取り組めるようにする。振り返りの段階では、友達と意見を交流し、その違いに気付かせ、相互評価を行う。学びのモニタリングの時間では、初めに立てたゴールの見通しを振り返り、学習前に書いた祭囃子についての感想と学習後の感想を比較することで、地域の伝統音楽のよさに気付くことができたかを検証していきたい。このことにより、海田町の新たな魅力に気付くことができるようにしたい。

単元の目標及び内容について

- 友だちの意見から新しい見方や考え方を見出し、地域で親しまれている郷土の音楽のよさや面白さ、美しさに気付くことができる。 【関心・意欲・態度】
- 祭囃子全体における曲想とその変化を感じ取って聴くことができる。 【鑑賞の能力B(1)ア】
- 祭囃子の曲想とその変化や音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じたことを言葉で表すなどして、祭囃子の特徴や演奏のよさに気付いて聴くことができる。 【鑑賞の能力B(1)ウ】

単元の評価規準

音楽への 関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの意見から自分が気付かなかった祭囃子のひみつを見出し、ふるさと海田の「熊野神宮祭礼獅子舞」のよさや面白さを聴き取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭囃子の特徴である笛、太鼓、鐘などによる曲想と、テンポやリズムなどの変化を感じ取って聴いている。 ・ ふるさと海田の「熊野新宮祭礼獅子舞」の曲想とその変化や、楽器の種類やテンポの変化などの音楽を形づくっている要素の関わり合いから、想像したことや感じたことを言葉で表すなどして、海田の祭囃子の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。

指導と評価の計画

全5時間

時	学習内容	評価			
		関	鑑	評価規準	評価方法
1	<p>課題の設定(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の音楽の特徴について学び、海田町の伝統音楽のよさを知りたいという思いをもつ。 ・ ガイドツアーで紹介した海田町の伝統文化のように、音楽についても紹介するとしたら、どのようなものがあるのかを探るというテーマを設定し、郷土の音楽について学ぶことに目的意識をもたせる。 ○ 課題を決定し、ゴールの見通しをもち、学習計画を立てる。 ・ 「ふるさと海田のまつりばやしひみつを見つけよう！」 ・ 日本各地の有名な祭囃子を聴いた後、海田の祭囃子を聴いて共通点や相違点を探すことで海田の祭囃子のひみつを探ることを確認する。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールイメージをもち、意欲的に地域の祭囃子について調べようとしている。 	行動観察
2	<p>整理・分析(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の特徴を感じ取りながら比較鑑賞する。 ・ 「花輪ばやし」(秋田県)と「小倉祇園太鼓」(福岡県)、「神田囃子」(東京都)を表を用いて比較する。 ・ お囃子が「たいこ」「ふえ」「かね」で演奏されていることや、リズムが反復できているという特徴に気付く。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭囃子のテンポ、楽器の種類、リズムの3つの視点について楽曲の特徴に気付いて聴いている。 	行動観察 発言 ワークシート

時	学習内容	評 価			
		関	鑑	評価基準	評価方法
3	<ul style="list-style-type: none"> 既習のお囃子と「熊野神宮祭礼獅子舞」を表を用いて比較する。 4曲のお囃子を聴いた気付きを踏まえ、郷土の音楽のよさや面白さ、美しさの秘密を見つけて書く。 海田の祭囃子の秘密について気付いたことを交流する。 <p style="text-align: right;">【本時】</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> 既習の3曲と「熊野神宮祭礼獅子舞」を比較することで、曲想とその変化やテンポ、楽器の種類、リズムの関わり合いから、海田の祭囃子の楽曲の特徴に気付いて聴いている。 	行動観察 発言 ワークシート
4	<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お囃子の音楽を体験する。 「熊野神宮祭礼獅子舞」を参考に、グループで「たいこ」「ふえ」「かね」と似た音が出るものを探し、見つけた秘密をもとに追体験する。 それぞれのグループが作った祭囃子を交流する。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと海田の「熊野新宮祭礼獅子舞」を聴いて、想像したことや感じたことを言葉で表すなどして、海田の祭囃子の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。 	発言 演奏の様子
5	<p style="text-align: center;">振り返り（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの学習を振り返る。 見たり聴いたり演奏したりしたことで、祭囃子などの郷土の文化に対する印象や感情がどのように変化したかを見ることで自らの学びを振り返る。 <p style="text-align: center;">学びのモニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの学びや学び方を振り返る。 単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で記述内容を基に自らの学びを振り返る。 	○		<ul style="list-style-type: none"> 友だちの意見から新しい見方や考え方を見出し、自分のものの見方や考え方の変容や自らの学びや学び方を振り返っている。 	発言 ワークシート 行動観察

本時の学習

(1) 本時の目標

- 既習の3曲と「熊野神宮祭礼獅子舞」を比較し、曲想とその変化やテンポ、楽器の種類、リズムの関わり合いから、海田の祭囃子の特徴に気付くことができる。

(2) 本時の評価規準

- 既習の3曲と「熊野神宮祭礼獅子舞」を比較し、海田町の祭囃子が、一定のテンポと鈴による音色の変化が特徴であることを感じ取り、郷土の音楽のよさや面白さ、美しさに気付いて聴いている。 【鑑賞の能力】

(3) 本時の学習展開（3時間目／全5時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 （評価方法） ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 海田町の祭囃子と比較するために、既習の祭囃子を再度聴く。 2 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ 「熊野神宮祭礼獅子舞」のひみつをみつけよう	◇新しい発見は、マトリックスに書き加えるよう指示する。	
本時のゴールの見通し A ：海田町の祭囃子を他地域のものと比較して、郷土の音楽のよさや面白さ、美しさに気付いて聴いている。 B ：海田町の祭囃子を他地域のものと比較して、特徴に気付いて聴いている。		
3 「熊野神宮祭礼獅子舞」を聴く。 ○ガイドツアーで紹介するならどのように紹介するか、ひみつをさがしながら聴こう。 ・使われている楽器は、太鼓、鐘、笛に加えて鈴が入っている。 ・速度はゆっくりで、ずっと変わらない。 ・主なふしは笛で演奏され、切れ目なく続いている。 4 全体で交流する。 ○見付けたひみつを伝え合おう。 □思考の場の工夫 比較する 既習の3曲との違いを、マトリックスをもとに比較して考える。 ・海田の祭囃子の特徴は、すずの音が入っているところ。 ・テンポはゆっくりでずっと変化が無い。 ・他の祭囃子と同じところは、太鼓や笛のリズムが繰返されること。 ・同じふしがずっと繰返されることで、祭りが盛り上がると思う。	◆聴き取る観点がわからない児童には、まず使われている楽器が既習の3曲と同じかどうかについて聴き取り、気付きをメモしながら聴くよう指導する。 ◇教えてもらったひみつは、付箋に書いてマトリックスに貼るよう指示する。	☆既習の曲と比較して、地元の祭囃子の特徴を考えている。

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力</p>
<p>5 全体で交流する。</p>		<p>◎友だちの意見から新しい見方や考え方を発見し、地域で親しまれている郷土の音楽の特徴に気付いて聴いている。〔鑑賞の能力〕 (発言・ワークシート)</p>
<p>★めざす児童の姿 熊野神宮祭礼獅子舞だけ、鈴の音が入っていて、リズムがはっきりするところがいい。 花輪ばやしは笛がはずむようなメロディーを吹いているけど、熊野神宮祭礼獅子舞は切れ目なく、ふしがずっとくりかえされている。 神田囃子の速さは変わるけど、熊野神宮祭礼獅子舞はずっとかわらない。だから終わった感じがせず、いつまでも祭りが続く感じがする。</p>		

(4) 板書計画

めあて
海田町の祭囃子「熊野神宮祭礼獅子舞」のひみつをみつけよう

今日のゴール
○：曲をきいて感じ取ったものを、言葉で伝える。
◎：+海田町のおはやしのとくちょうやよさに気付く。

	神田囃子 (東京都)	花輪ばやし (秋田県)	小倉祇園太鼓 (福岡県)	熊野神宮祭礼獅子舞 (海田町)
どんな音にきこえるか	ピーピーヒョロロー ピーヒョロロー カカンカカンカン	ピーピーポーポー シャカシャカシャン チャカチャカ それ！よい！（かけごえ）	ドドンド ドンドン ガガン ガガン ガンガガンガ	ドン ドン カン カン シャンシャン ピーヒョロヒョロロー
使われている楽器	たいこ ふえ かね	たいこ ふえ かね しゃみせん	たいこ かね	たいこ ふえ かね すず
リズム	ふえの細かいリズム	はずむようなかんじ	たいこのリズムが目立つ	たいこかねが同じリズムをくりかえす
速さ	はじめ・・・はやい なか・・・おそい おわり・・・はやい	ずっとおなじはやさ おそい	だんだんはよくなる	ずっとおなじはやさ おそい
その他	たくさん的人数で えんそうしている		にぎやかで、だんだんも りあがる	いつまでも終わらない 感じ

○同じところ
・たいこかねが使われている。
・同じリズムを何回もくりかえす。

○ちがうところ
・速さが変わる曲と変わらない曲がある。
・はずむようなふしと、切れずにずっとつづくふしがある。
・しゃみせん、すずなど、使っている楽器のしゅるい

「熊野神宮祭礼獅子舞」のよさ
・すずの音（リズムがはっきり） 同じテンポ（ずっと続く感じ）

ふるさとかいたのまつりばやしのひみつをみつけよう！

① 主体性・・・自分から学ぼうとする力

きよくのとくちようをさがしながらきこうとした。

きよくの感じをいかして、まねしてえんそうすることができた。

(◎・○・△)

② 思考力・・・しっかり考える力

きよくをきいてかんじとったことを、ともだちとこうりゆうできた。

(◎・○・△)

③ 自己理解・・・自分のよさや成長に気づく力

ともだちのいけんをさんこうにして、海田のまつりばやしのよさをはっけんできた。(◎・○・△)

★まつりばやしの学習をはじめる前と終わった後をくらべて、じぶんができるようになったことは何ですか。また、次はどんなことをしたいですか。
○できるようになったこと
○次のもくひよう